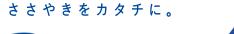
2026年3月期中間期会社説明







2025年11月7日 コムチュア株式会社

会社概要



会社名	コムチュア株式会社
代表者	代表取締役 社長執行役員 澤田 千尋
所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー 9F/15F 事業所 : 名古屋 / 大阪 / 福岡 / 長岡 オフィス: 有明 / 五反田
グループ会社(拠点)	コムチュアネットワーク株式会社(有明) エディフィストラーニング株式会社(八重洲) 株式会社ヒューマンインタラクティブテクノロジー(飯田橋)
設 立 年 月 日	1985年1月18日
事 業 内 容	コンサルティング、システム設計・構築、運用・保守、教育のトータルサービス
資 本 金	1,022百万円(2025年3月末)
連結売上高	36,341百万円(2025年3月期) 40,000百万円 (2026年3月期 業績予想)
連結経常利益	4,660百万円(2025年3月期) 5,000百万円 (2026年3月期 業績予想)
連結従業員数	2,050 名(2025年4月1日時点、役員および派遣社員含む)





絶え間ないイノベーションで年平均成長率10%以上の高成長経営



IT技術の変化に適応した 成長領域への事業シフトで常に進化

業務効率化とデータの統合管理 ビジネスソリューション(ERP)

ITバブル崩壊

03/3

ON 05/3

グループウェアソリューション

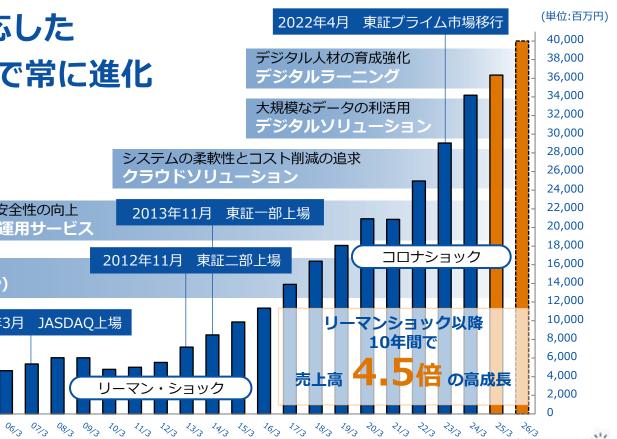
96/3 9/3 98/3 99/3 00/3 01/3 02/3

システム運用の効率と安全性の向上

プラットフォーム・運用サービス

2007年3月

JASDAQ上場



コンサルティング、生成AI

デジタル支援

コムチュアのイメージキャラクター 「コムくん」

メインフレーム全盛期

得意分野を確立した10年

バブル崩壊

上場の10年

COMTURE Transformation

事業内容(ベンダー連携戦略)



グローバルのプラットフォーマー・ツールベンダーとの連携

クラウドソリューション事業

■ グローバルなSaaSベンダーとの連携によるコラボレーション・ CRMなどのクラウドサービス導入時のコンサルティングや インテグレーションサービスの提供など

デジタルソリューション事業

■ グローバルなAIベンダーとの連携によるデータ基盤の構築や、 グローバルなデータ分析ベンダーとの連携によるデータ分析ソ リューションの提供など

ビジネスソリューション事業

■ グローバルなERPパッケージベンダーとの連携による会計・ 人事や、フィンテックなど基幹システムの構築・運用・モダナ イゼーションなど

プラットフォーム・運用サービス事業

■ 仮想化ソフトウェアを活用したハイブリッドクラウド環境や仮 想化ネットワークの設計・構築・運用、グローバルなツールを 活用した自社センターでのシステムの遠隔監視サービス、ヘル プデスクなど

デジタルラーニング事業

■ グローバルなベンダーとの連携によるベンダー資格取得のため の研修、デジタル人材育成のためのIT研修実施など





































SAP SuccessFactors













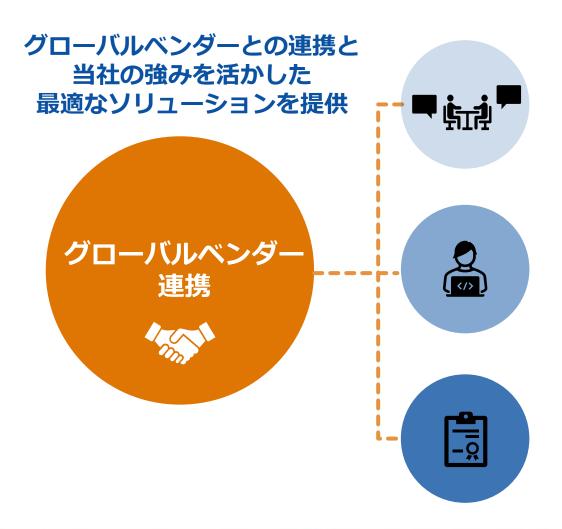
本資料に記載されているロゴやサービス名は各社の商標または登録商標です。



コムチュアの強み



競合他社との差別化のための3つのポイント



提案力

- ・ベンダーソリューションを使った事例やノウハウのメニュー化
- ·**コンサルティング**フェーズからの支援
- ・ニーズに合わせた**複合型ソリューション**

技術力

- ・ベンダー資格取得を中心とした技術者育成
- リスキリングによるデジタルスキル習得
- ・**グループ会社の教育コンテンツ**の活用

品質力

- ・PM人材の育成による体制強化
- ·開発手法の標準化
- ・グループ横断の提案・品質レビュー機能

企業価値向上と連動した人的資本投資



持続的な成長と高付加価値経営を支えるKPI管理

■売上計画達成のためのKPI

売上高



案件総量

× リソース

採用

キャリア採用

育成

・新卒計員の育成

・新卒採用

案件総量:3倍

○:受注すべき案件(低リスク、高収益)

×: 当社からお断りする案件 (高リスク、低収益)

×:お客様からお断りされる案件 (コンペ案件)

新規ユーザ向け営業活動

- ・グローバルベンダー連携による提案活動
- ・Webサイトからの問い合わせ

既存ユーザ向け営業活動

- ・アカウントSEによる提案活動
- ・トップマネジメント間のリレーション強化

■利益計画達成のためのKPI

売上総利益



×

社員数

一人当たり 売上高 社員:協力会社 比率

高付加価値化

- デジタル領域への シフト
- 資格取得の推進
- 上流工程の拡大
- 価格交渉
- ・ 生産性の向上
- ・ ▲新入社員の増加

連携

- コアパートナー との連携強化
- 協力会社社員の 育成
- 新規協力会社の 開拓

待遇

・リスキリング

- ・賃金アップ
- ・キャリアアップ
- ・エンゲージメント

| 5



成長と安定の事業バランス

コンサルティングから導入後のサポートまで、お客様のデジタル化支援を通して事業を拡大

コンサルティング

システム設計・構築

維持保守・ 運用・ヘルプデスク (アウトソーシング)

フロービジネス:50%



プストックビジネス:50%

研修・教育サービス

顧客基盤

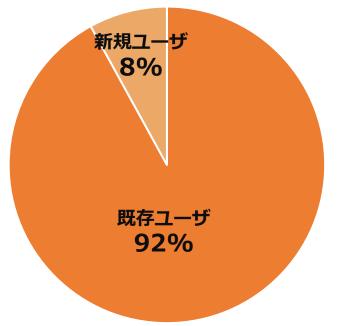


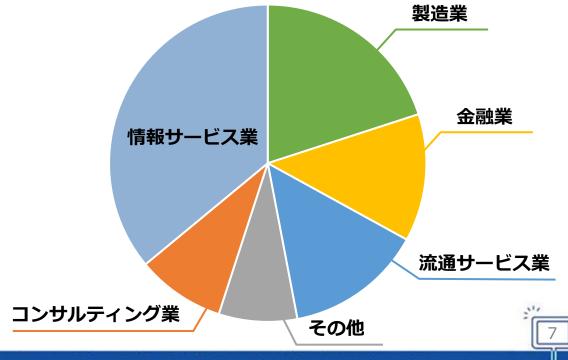
特定の業種に依存しない、大手企業を中心とする安定した顧客基盤

総取引社数: 1,372社 ※2025年3月期末時点

新規・既存ユーザの割合

業種別の割合(売上高上位100社)





M&Aの軌跡



M&A戦略による従業員数の拡大とグループの成長

オーガニック成長を基盤とし 戦略的なM&Aでさらなる成長を実現

積極的な投資の継続で 成長スピードを加速

2025年6月:㈱トューマンインタラクティブテクノロジーをグループ化 2022年4月:ソフトウエアクリエイション㈱をグループ化 (単位:人) 2023年1月:タクトシステムズ㈱をグループ化 2021年3月: エディフィストラーニング㈱をグループ化 2,000 2019年4月:ユーエックス・システムズ㈱をグループ化 2016年10月:㈱コメットをグループ化 2016年12月:アクロス㈱の名古屋地区の既存事業を譲受 2014年4月:㈱コスモネットをグループ化 2015年1月: ㈱シー・エー・エムをグループ化 日本ブレインズウエア㈱をグループ化

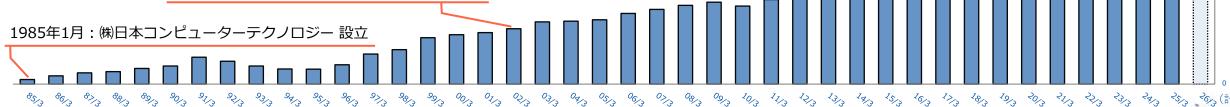
2012年1月: テクノレップス・ジャパン㈱の全事業を

コムチュアネットワーク㈱が譲受

2011年2月: コムチュアネットワーク(株) 設立

2002年1月: コムチュア㈱に商号(社名)変更

2/3 3/3 24/3 35/3



M&Aに対する考え方



リソース確保と事業拡大により成長を加速

2026年3月期~2028年3月期の3年間で

50~120億円の積極的なM&Aによる投資

リソース拡大と人材育成による 体制の強化

- ・エンジニアリソースの確保
- ・PM等の高スキル人材の確保
- ・リスキリングと成長領域へのリソースシフト



コムチュアの経営手法の 導入・徹底による **業績の改善**

- ・KPI経営や業績管理の導入
- ・業務プロセス統合による効率化
- ・事業連携とノウハウ共有



事業ポートフォリオ の拡大

組織シナジーの最大化に加えて 新規事業の拡大を実現



直近のM&A実績



PMI施策や人材育成による利益率の大幅な改善

企業名	株式取得の目的	取得時の 従業員数	取得価格	売上高 営業利益率		グループ化後の効果
				グループ化 直前期	グループ化 第1期	
エディフィストラーニング	・IT系の教育事業の 強化	56名	13.5億円	11.0億円 10.9%	11.9億円 19.4%	教育事業の強化グループ内のデジタル人材の育成の推進
ソフトウエアクリエイション (2024年4月 コムチュアに統合)	・リソース確保 (リスキリングを想定)	120名	5.0億円	17.6億円 4.7%	19.7億円 12.0%	・SAPエンジニアへのリスキリング による成長領域への事業拡大 ・新規顧客基盤の獲得と主要取引先 へのクロスセルの拡大
タクトシステムズ タクトビジネスソフト (2023年10月 両社を統合、 2025年4月 コムチュアに統合)	・リソース確保 (PM等の高スキル人材)	121名	23.7億円	【12か月換算】 26.7億円 6.5%	28.4億円 18.2%	・PM人材の確保、プロジェクト管理など品質強化によるビジネス機会の拡大・関西地域の事業体制を強化・BPM領域の事業体制を強化

目指す企業像



今後3カ年での目指す企業像

市場環境認識

- 1. デジタル投資は継続して増加
- 2. お客様企業で進む内製化
- 3. 生成AIはITサービス産業を根本から変革

目指す企業像

お客様業務を理解し寄り添うことができお客様に新しいサービス・経験を提供できる会社へ

2025年度 中期経営計画 事業戦略:基本骨子



デジタル領域で高付加価値化を更に促進、持続的な成長を実現

3つの事業戦略

ベンダー連携

- ・営業プロセスの強化
- ·品質/技術力向上

顧客基盤

- ・顧客基盤の構築
- ・事業モデルの変革

リソース

- ・PM人材の育成
- ・採用/リソースシフト

事業を支える 経営基盤の強化

デジタル化推進

人的資本

サステナブル

事業成長を加速させる 投資戦略

M&A

人材投資

事業・経営革新

業績目標概要(2026年3月期~2028年3月期)



2032年に売上高 1,000億円企業 を目指して

年平均10%以上の成長、増配トレンド維持を計画

	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画	2028年3月期 計画	年平均成長率 (2025年 3 月期~ 2028年 3 月期)
売 上 高	36,341百万円	40,000百万円	51,000百万円	10.0%以上
営業利益率)	4,630百万円 (12.7%)	5,000百万円 (12.5%)	6,600百万円 (12.9%)	10.0%以上 -
EBITDAマージン)	5,137百万円 (14.1%)	5,813百万円 (14.5%)	7,538百万円 (14.8%)	10.0%以上 -
R O E	17.9%	17.2%	20.0%以上	-
配当性向	48.4%	48.0%	45.0%以Ě	-

※増配傾向を維持しつつ、配当性向については45%以上を確保

2025年度 中期経営計画 投資戦略



継続的な成長投資や 積極的な株主還元を実施

借入金(必要に応じて)

営業キャッシュフロー (26/3期~28/3期)

110億円以上

手元資金 (25/3期末時点)

128億円

成長投資

株主還元

運用資金

※金額は全て3ヵ年(2026年3月期~2028年3月期)の投資額想定

成長投資

【M&A:**50~120億円**】

・体制強化のための資本効率を重視した投資

【人材投資:30~50億円】

- ・新卒/キャリア採用活動の強化
- ・教育/研修プログラムの充実
- ・継続的な処遇水準の引上げと福利厚生の充実
- ・働きやすい環境の整備

【事業・経営革新投資:**10億円以上**】

- ・社内デジタルの推進による業務改革
- ・基幹システム刷新による効率化とガバナンス強化

株主還元

配当性向 45%以上

収入

支出

目指すべき姿



2032年3月期 売上高 1,000億円企業 への挑戦

お客様のデジタル推進と 課題解決を通した 高付加価値サービスの提供

X

社員が働きやすい 超一流企業としての 基盤づくり



85/3月期 2025/3期 2028/3期 2032/3期

創業期の10年

得意分野を確立した10年

上場の10年

COMTURE Transformation





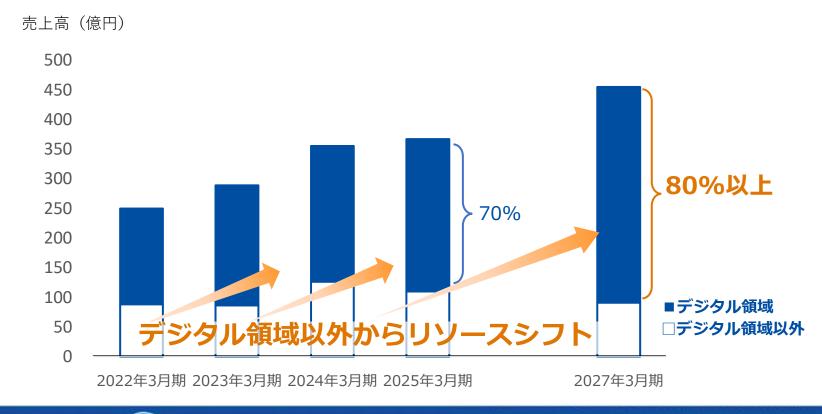
補足資料

2025年度 中期経営計画 事業戦略: デジタル領域ビジネスの拡大



成長エンジンであるデジタル領域へのシフトを加速

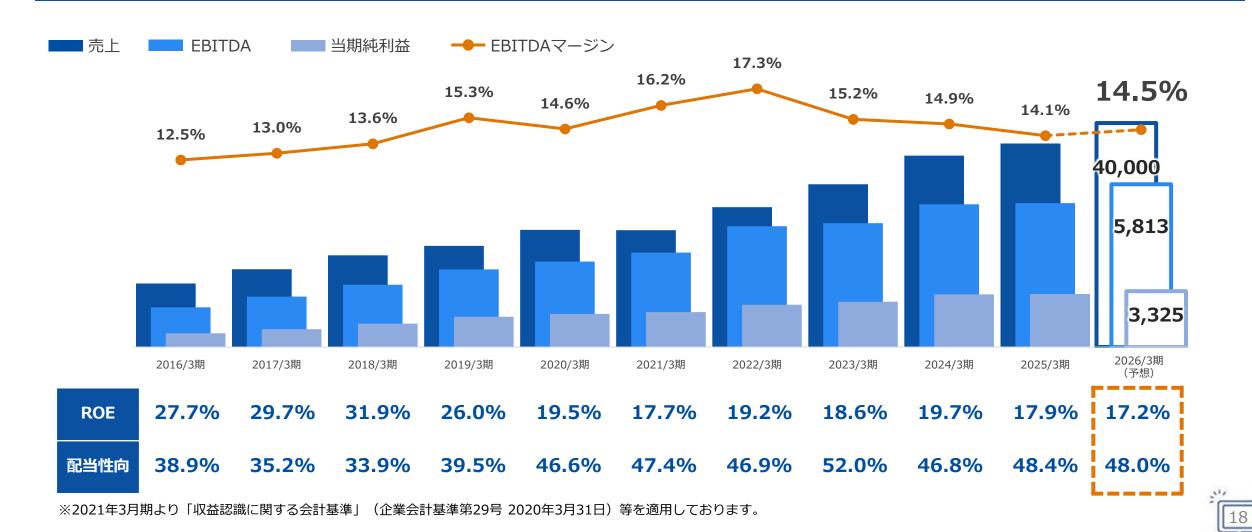
- ・成長するデジタル市場を追い風に デジタル領域でのビジネス拡大
- ・積極的なリソースシフト を実行
- ・売上高に占めるデジタル領域での事業比率を80%以上に拡大を目指す(2027年3月期)



業績推移



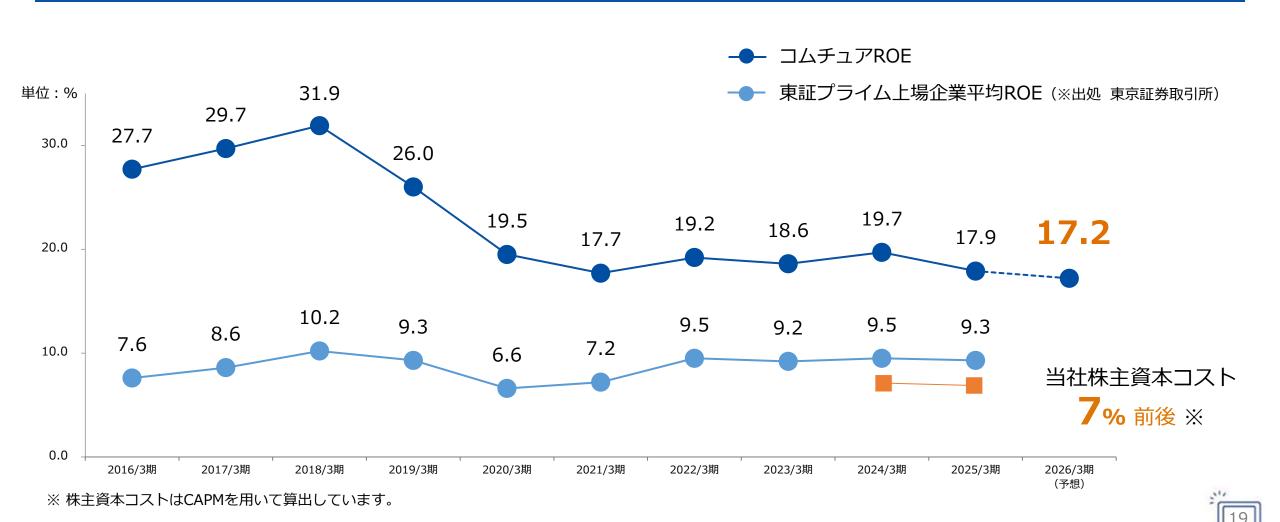
2015年度~2025年度(売上/EBITDA/純利益)



資本効率と株主資本コストの認識



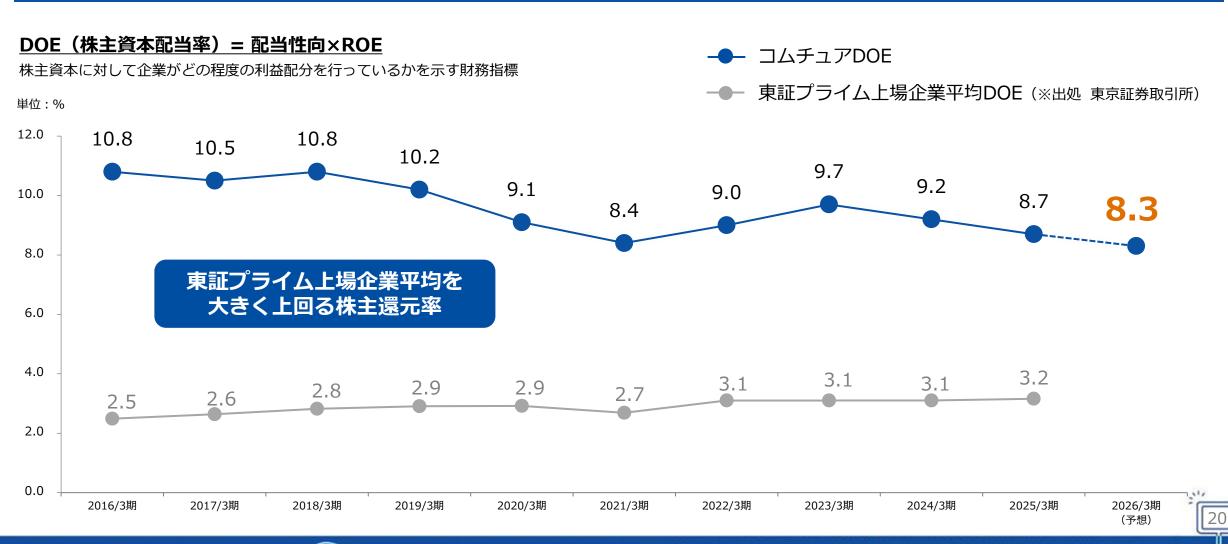
株主資本コストを大きく上回る資本効率を維持



資本効率と株主還元の両立



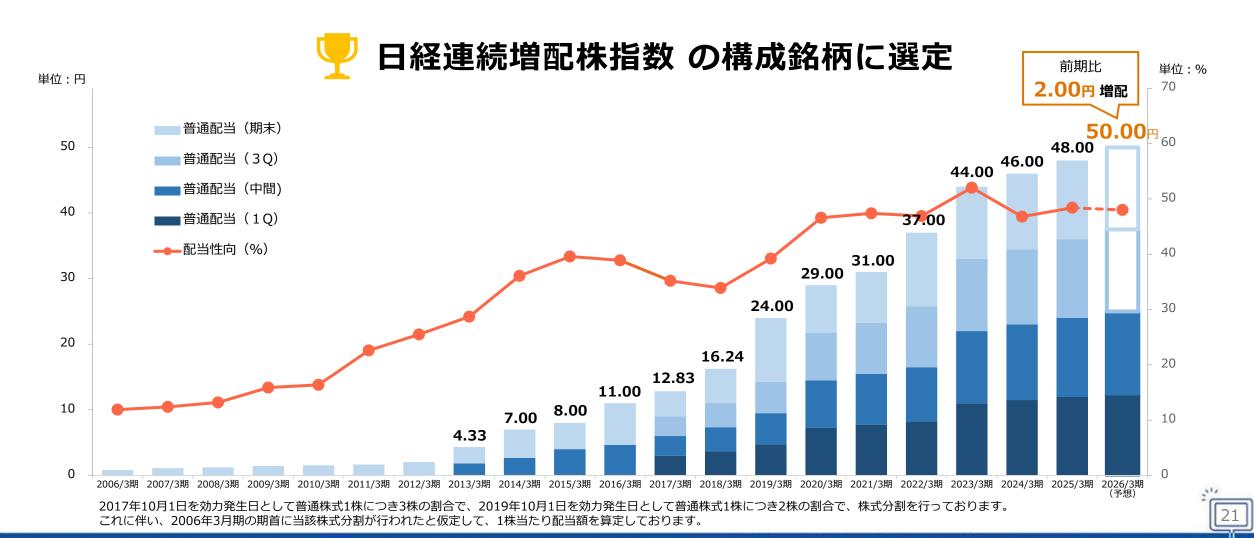
持続的な 高い利益還元 と 安定配当 を目指す



配当方針・配当金推移



21期連続 増配計画、配当性向 45%以上 を目標



サステナビリティ方針とマテリアリティ



サステナビリティ方針

わたしたちはお客様のDXを推進することで、 経済・社会課題の解決と社会価値の最大化に貢献してまいります。

マテリアリティ

提案力の 向上による お客様の価値の 最大化

持続的成長に

向けた

適正な投資と

資本効率の向上

イノベーション を支える パートナーシップ・ 最先端技術開発

共に成長し

多様な人材の 活躍と成長

事業を通じた DXによる 社会課題解決

未来を創るチカラ

地球と未来を守る 責任ある経営

ステークホルダー から期待される 健全経営の実践

気候変動・ 資源循環への 対応

未来を創造するDXで 社会貢献

社会のDXに 貢献する IT人材の育成・ マネジメント

数字で見るコムチュアグループ



採用



新卒 : 192人

(2025年4月入社)

キャリア: 64人

(2024年度入社実績)

リスキリング



累計: **78**人

資格取得者数



[ベ 1,500人

(2024年度実績)

社員一人当たり売上総利益 成長率



+**0.2**% (2024年度実績)

+**5.0**% (2024年度実績)

離職率



5.5% (2024年度実績)

月平均残業時間



8.8時間

(2024年度実績、コムチュア単体)

育休取得人数/割合

昇給率



男性: 88%

女性: 100%

(2024年度実績、コムチュア単体)

女性管理職人数/割合



23人 / 10.3%

(2024年度実績、コムチュア単体)

主な選定指数



JPX日経中小型株指数(JPX-Nikkei Mid and Small Cap Index)

【構成銘柄数:200銘柄】

「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とするJPX日経400と同じコンセプトを中小型株に 適用し、持続的な企業価値の向上、株主を意識した経営を行っている企業で構成する株価指数。当社は 2016年から10年連続で選定。



日経連続増配株指数

【構成銘柄数:70銘柄】

国内に上場する銘柄のうち連続増配を続ける銘柄から構成される時価総額ウエート方式の株価指数。 原則として10年以上連続して増配する企業が対象。当社は2023年から3年連続で選定。



20期連続増配!

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

【構成銘柄数:約680銘柄】

代表的なESG評価機関の一つであるFTSE Russellによって、ESG(環境・社会・ガバナンス)に関する対応に優れた日本企業が評価される。当社は2024年6月から継続して選定。



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



お客様には"感動"を

社員には"夢"を



本資料お取扱い上の注意



- 本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ◆ 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行なっておりますが、完全性を補償するものではありません。
- ◆本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、 潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は 言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

コムチュア株式会社 経営統括 コーポレートコミュニケーション部